

InfoHunter™

Plus

取扱説明書



改定記録		
改訂番号	改定日	内容
Rev.1.0	Aug 2012	初版
Rev.1.0.1	Sep 2012	Version 1.0.1 ・表示順番変更 ・印刷フォーマットの文言変更

- 1.本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
- 2.本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
- 3.本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 4.本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 5.運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

目次

1. はじめに	6
1.1. 製品の特徴	7
1.2. 対応機種	7
2. ダウンロード / インストールについて	8
2.1. ダウンロード / インストール	9
3. メイン画面	10
3.1. 画面の説明	11
4. 入力画面	12
4.1. 画面の説明 (ソフトウェアポート 表示)	13
4.2. 画面の説明 (ソフトウェアポート 非表示)	13
5. 収集データ表示画面	14
5.1. 収集データリスト	15
5.2. 収集データ詳細	15
5.3. 入力データ詳細	16
5.4. 収集データ送信 (印刷)	16
5.5. 収集データ送信 (SD)	17
5.6. 収集データ送信 (FTP)	17
6. 設定画面	18
6.1. 画面の説明	19
6.2. メニュー編集	20
6.2.1. 入力項目詳細設定	21
6.2.2. マスタ情報	22
6.2.3. 印刷フォーマット	22
6.3. メニュー読込 (SD)	23
6.4. メニュー読込 (FTP)	23
6.5. メニュー読込 (QR 読込)	24
6.5.1. 内蔵カメラ	24
6.5.2. バルコッドスキャナ	25
6.6. QR 表示	26
6.6.1. 一括表示	26
6.6.2. 分割表示	27
6.7. マスタ読込 (SD)	27
6.7. マスタ読込 (FTP)	28
6.7. FTP 設定	29
6.8. 通信設定画面	29
7. 各種ファイルフォーマット	30
7.1. 収集データファイルフォーマット	31
7.2. マスタファイルフォーマット	32
7.3. メニューファイルフォーマット	32
7.4. 印刷フォーマット	33
7.4.1. 使用できるコード	33
7.5. メール送信フォーマット	34

1. はじめに

このたびは、InfoHunter Plus をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本書では、InfoHunter Plus の操作・設定方法について説明いたします。

InfoHunter Plus は、フリー版を用意しております。
制限事項は、30 件までの収集、収集したデータの削除が出来ないようになっております。
30 件まで収集してしまった場合は、アプリケーションを一度アンインストールし、再度インストールしてください。

1.1. 製品の特徴

InfoHunter Plus は、手軽で使いやすいモバイルコードリーダーとスマートフォンを連携させて、バーコード並みの業務ソリューションを提供するアプリケーションソフトです。

InfoHunter Plus には以下の機能があります。

- ・コード収集機能
- ・マスタ参照機能
- ・メール送信機能
- ・FTP 送受信機能
- ・SD インプット/エクスポート機能
- ・印刷機能
- ・収集データ一覧表示
- ・メニューファイル機能

1.2. 対応機種

本体

- ・OS2.1 以上の Android 端末

スキャナ

- ・MODEL iBar@BT
- ・MODEL 1170-BTV2
- ・MODEL 1660/1664
- ・MODEL ワイヤレス豆っぴシリーズ (ちっちゃ〜いワイヤレスリーダー)
- ・MODEL 8230/8260

その他、AndroidOS に接続できるモバイルスキャナに関しては、お問合せください。

(*) 本アプリで、カメラ機能/メール送信機能は、外部アプリを起動する為、カメラアプリ/メールアプリが別途必要となります。

2. ダウンロード / インストールについて

2.1. ダウンロード / インストール

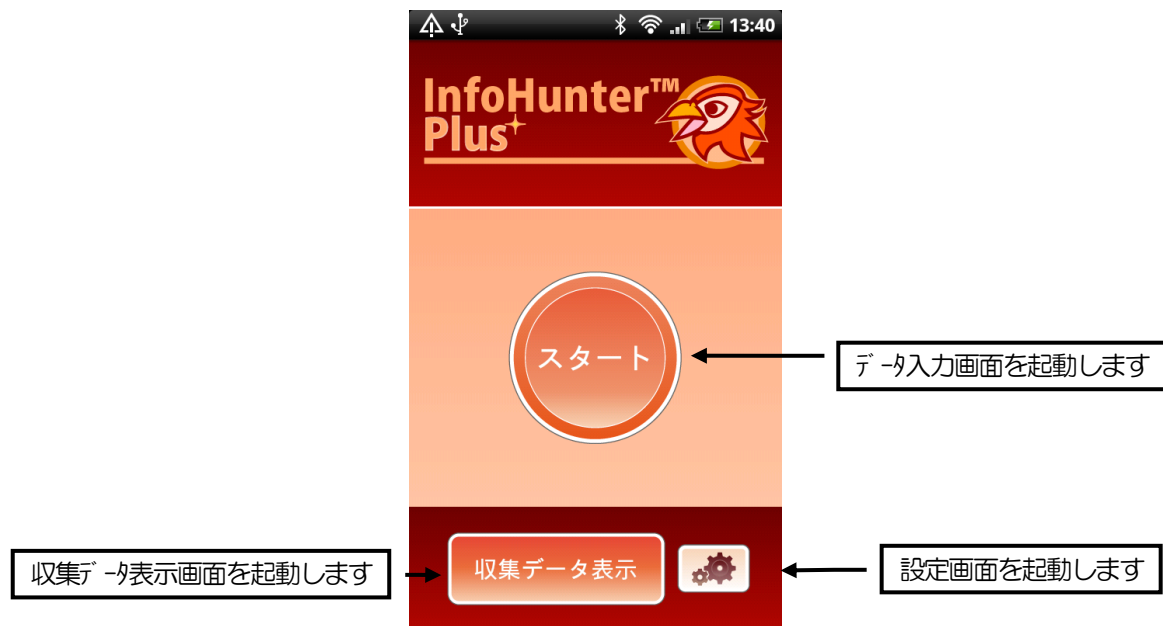
Google Playストアの検索画面から「ウェルコムデザイン」または「InfoHunter」で検索することでアプリケーションを検索し、ダウンロード / インストールすることができます。



3. メイン画面



3.1. 画面の説明



4. 入力画面

入力

サンプルメニュー

棚番

A10001

商品コード

35AA000017

数量

10

撮影

↑ 上の項目へ

確定

← 収集データ数 7 件 InfoHunter™ Plus

4.1. 画面の説明 (ソフトウェアキーボード 表示)



(*) 入力項目部分はスクロールします。

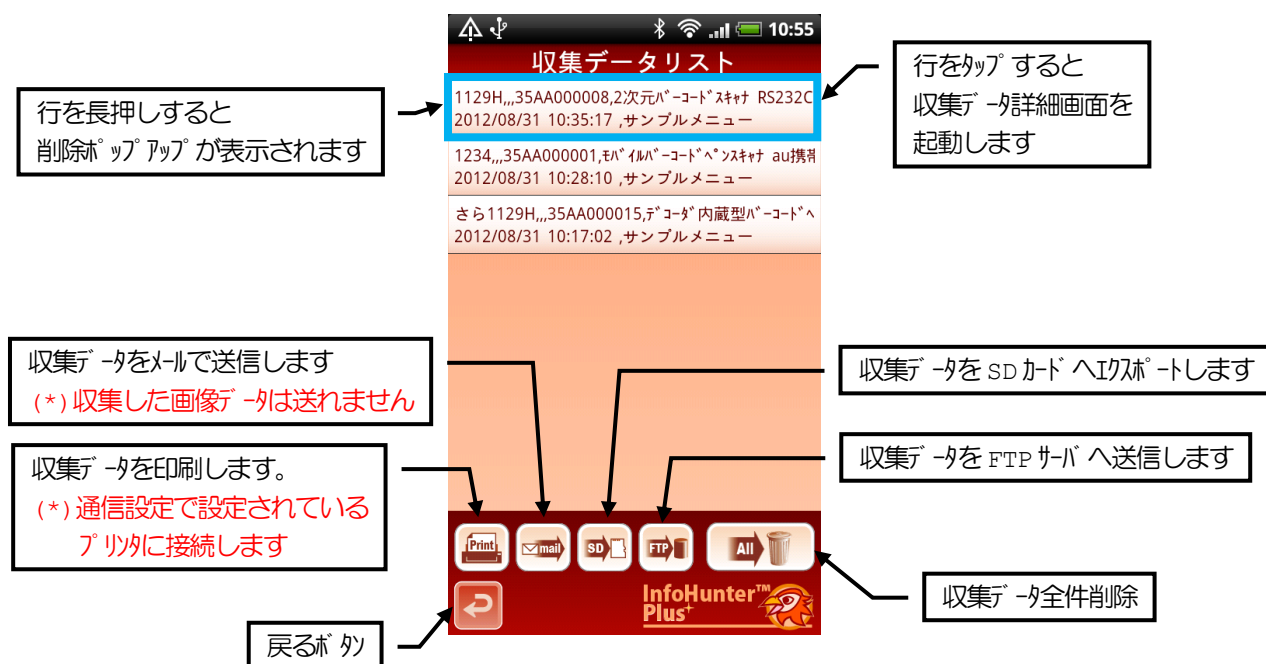
4.2. 画面の説明 (ソフトウェアキーボード 非表示)



5. 収集データ表示画面



5.1. 収集データリスト



5.2. 収集データ詳細



5.3. 入力データ詳細



入力データを表示します。
撮影データの場合は画像だけが表示されます。

5.4. 収集データ送信 (印刷)



収集データをプリンタへ送信し、印刷します。

(*) 印刷のフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.5. 収集データ送信 (SD)



収集データをSDカードにインストールします。

(*) 収集データのフォーマットは「7.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.6. 収集データ送信 (FTP)



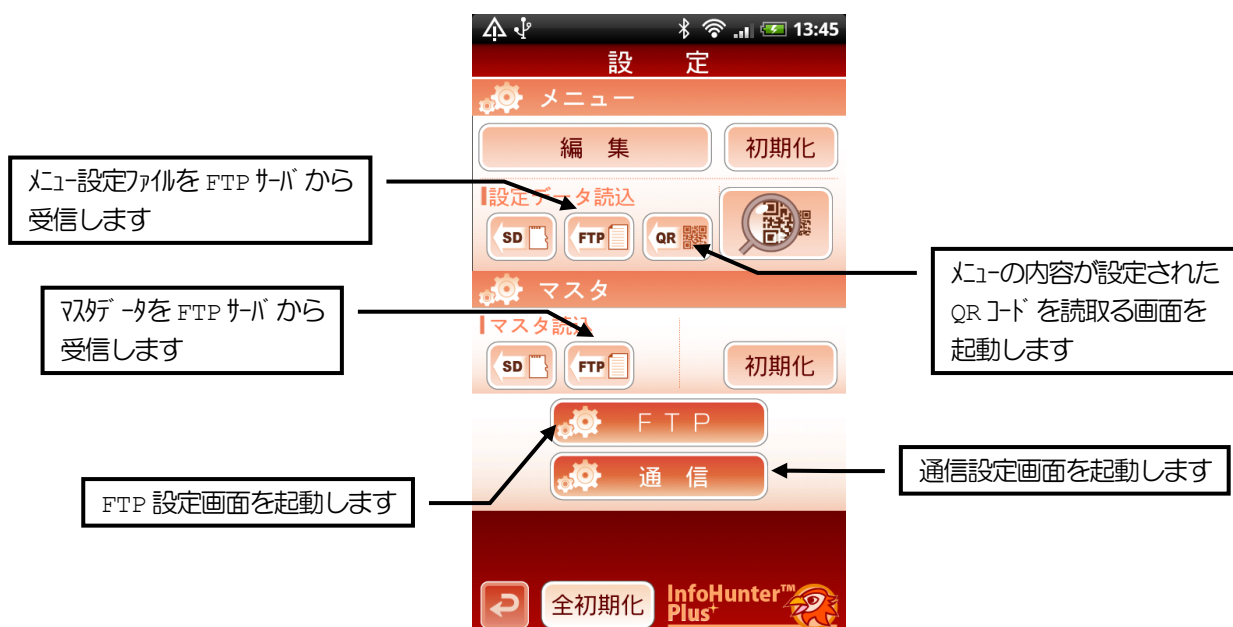
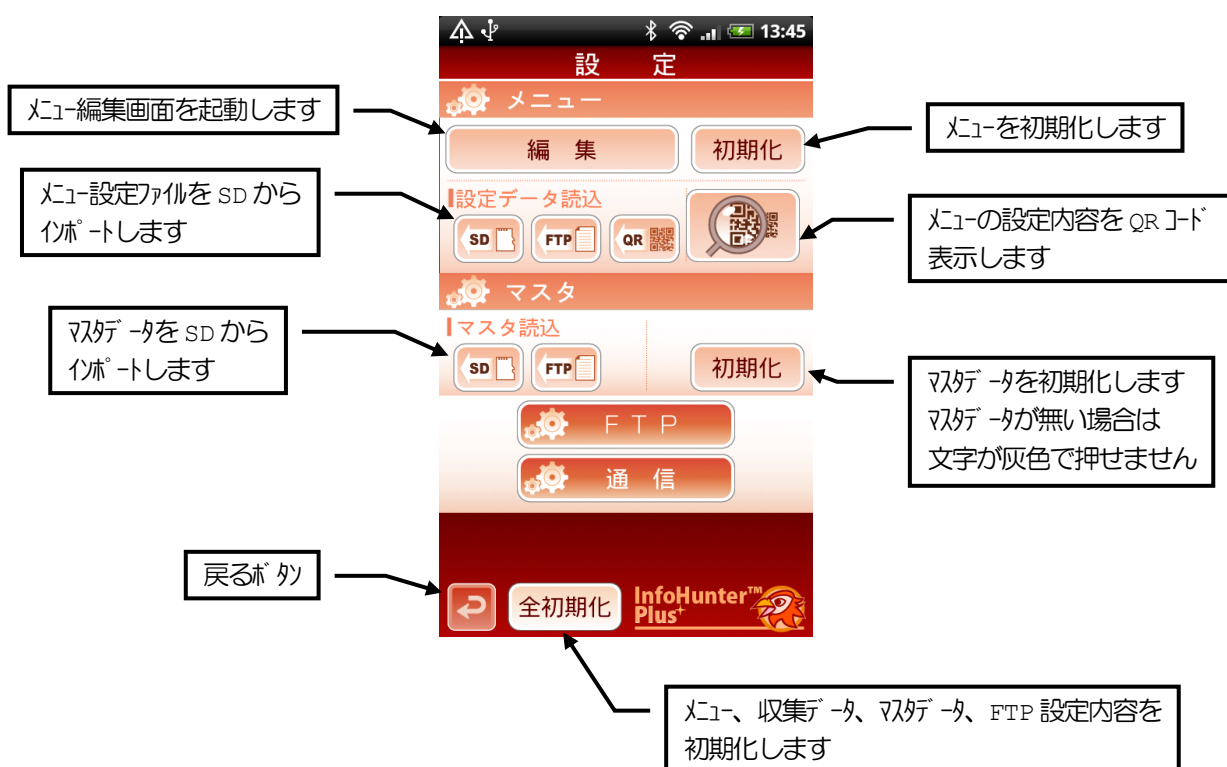
収集データをFTPサーバへ送信します。

(*) 収集データのフォーマットは「7.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5. 設定画面



6.1. 画面の説明



6.2. メニュー編集



1. タイトル
メニューの作業タイトルを設定します。
2. 入力項目数
入力項目数を設定します。(1 ~ 10 まで)
3. 共通項目数
共通項目数を設定します。(0 ~ 9 まで、ただし入力項目数より小さい値)
4. 追加情報を付加
参考を行った場合、追加データを収集データに付加します。
5. 日付を付加
収集データに日付を付加します。(フォーマット : 2012/07/31)
6. 時間を付加
収集データに時間を付加します。(フォーマット : 12:00:00)
7. 確定時(メール送信)
入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタンを実行したとき、入力データの内容をメールで送信します。(メールが起動します)
8. プリフィックスデータ機能
この機能をONにすると、入力データの先頭に @01: を付加した場合、そのデータは入力項目の1番目に入力されます。(@01: ~ @10:)

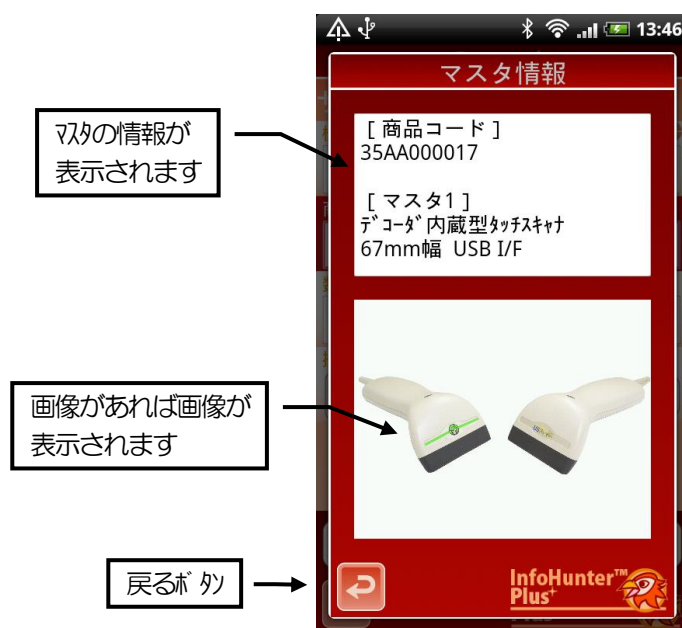
例) 入力項目の3番目に@01:ABC123 と入力すると、1番目の入力項目に ABC123 が設定されます。

6.2.1. 入力項目詳細設定



1. 名称
入力項目の名称を設定します。
2. 種別
文字、数字、カメラを選択します。
3. 初期値
初期値を設定します。(数量を入力する場合、あらかじめ1を入れておくと便利です)
4. 入力桁数
入力文字数を 最小 ≤ 最大 で設定します。
5. 抽出桁数
入力されたデータから指定された部分の文字列を抽出します。(バーコードスキャンから入力したデータの一部分を入力したい場合に、設定すると便利です)
指定範囲は (開始位置 + 桁数) ≤ (入力桁数の最小 + 1) で設定します。
6. マスタ参照
マスタデータが設定されていれば、マスタデータを参照してマスタ情報画面を表示します。
7. マスタ表示時間
マスタ情報画面を表示している時間を設定します。
-1: マスタ情報を表示しません。
0: 戻るボタンが押されるまで表示し続けます。
1 ~ 99 秒の範囲で指定します。

6.2.2. マスタ情報



マスタ参照を ON に設定した入力項目で、マスタデータと合致するデータを入力した場合、この画面が表示されます。

(*) マスタ表示時間が設定されていても、戻るボタンを押せばいつでも前の画面に戻ります。

6.2.3. 印刷フォーマット



印刷フォーマットが表示されます。修正する場合には、ワキボードにて修正してください。

(*) 印刷フォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.3. メニュー読込 (SD)



SD のフォルダ / ファイルリストを表示します。インポートするファイルを選択し、確定を押下してください。

(*) メニューファイルフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.4. メニュー読込 (FTP)



メニューファイルを FTP サーバ から受信します。

メニューファイルを受信するには、FTP 設定で設定した FTP サーバ にアクセスデータを正しく設置する必要があります。

(*) アクセスデータのフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.5. メニュー読込 (QR 読込)



6.5.1. 内蔵カメラ



QRコードの撮影モードになりますので、QRコードを撮影してください。

画面をタッチすると、オートフォーカスを行います。QRコードが正しく認識できると、読取ったデータが表示されます、このデータで良い場合はOKボタンを、取消す場合はキャンセルボタンを押してください。

QRコードは続けて複数回読むことができます。一括で読込めない場合はQRコードを分割したものを読取るようにしてください。

確定ボタンを押すとメニューに反映されます。

(*) 複数回読込んだ場合、最後に読込んだ入力項目のデータが反映されます。

6.5.2. バーコードスキャナ



通信設定により、画面起動時の動作が異なります。

1. Bluetooth SPP Master

Bluetooth 接続待ち状態になります。バーコードスキャナの電源を入れ、接続後、QRコードを読み取ってください。

2. Bluetooth SPP Slave

Bluetooth 接続を行います。バーコードスキャナの電源を入れ、接続後、QRコードを読み取ってください。

3. Bluetooth HID

テキスト入力欄にカーソルを合わせてから、Bluetooth HIDバーコードスキャナでQRコードを読み取ってください。

(*) 半角カタカナ、全角文字は正常に表示されません、ソフトウェアで修正してください。

4. 接続なし

テキスト入力欄にカーソルを合わせてから、ソフトウェアで入力してください。

6.6. QR 表示



設定されているメニューの内容をQRコードで表示します。

(*) 端末がインターネットに接続されていないと表示されません。

6.6.1. 一括表示



設定されているメニュー内容を一つのQRコードで表示します。

6.6.2. 分割表示



設定されているメニュー内容を分割し、QRコードで表示します。
メニュー内容により、分割枚数は増減します。

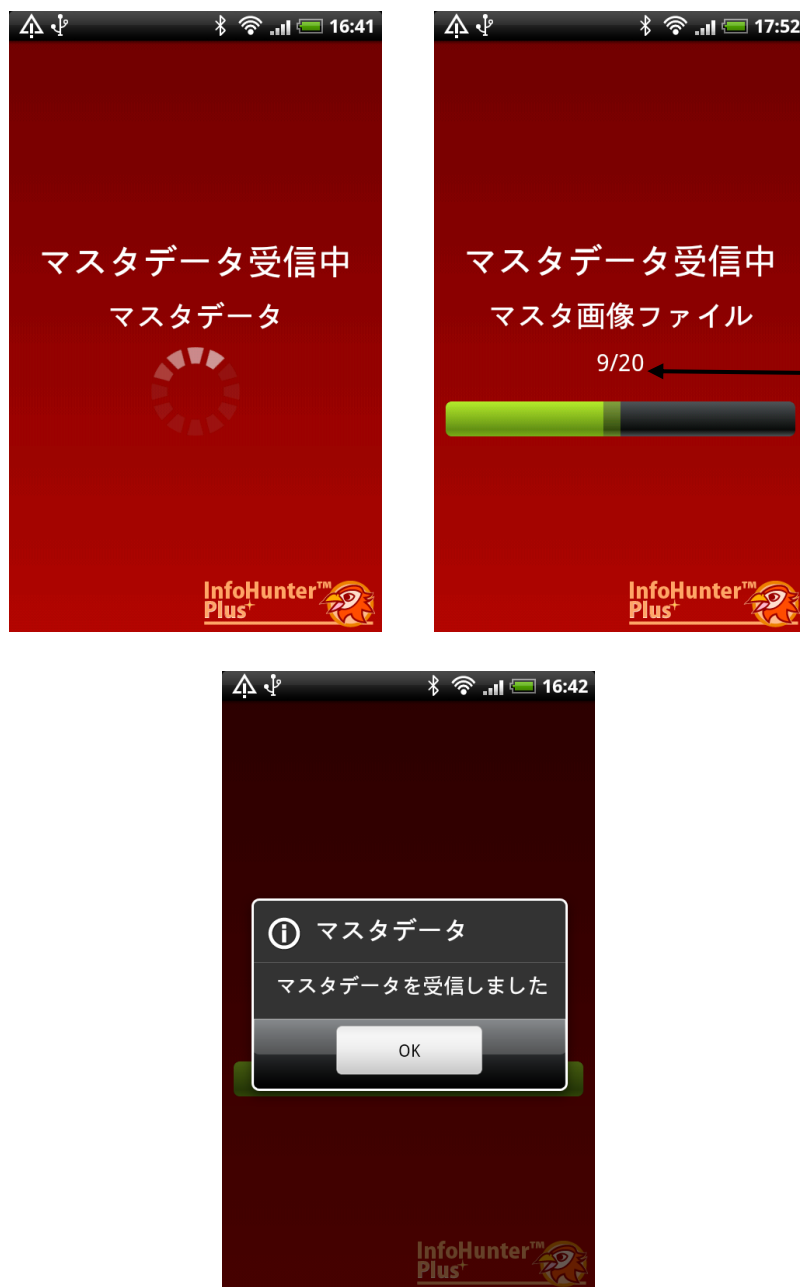
6.6. マスタ読込 (SD)



SD のフォルダ / ファイルリストを表示します。インポートするファイルを選択し、確認ボタンを押下してください。

(*) メニューファイルフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.7. マスタ読込 (FTP)



マスタデータをFTPサーバから受信します。

マスタデータを受信するには、FTP設定で設定したFTPサーバにマスタデータを正しく設置する必要があります。

(*) マスタデータのフォーマットは「7.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

6.7. FTP 設定



ホスト名(アドレス)、ポート、ユーザ、パスワード、ディレクトリを設定してください。

(*) ここで設定した FTP サーバ に対して、収集データの送信やマスタデータの受信、設定ファイルの受信を行います。

(*) FTP サーバ の種類によっては、正常に送受信できない場合があります。

動作確認 FTP サーバ : インターネット インフォメーション サービス Microsoft Corporation バージョン: 6.1

6.8. 通信設定画面



バーコードリーダー、プリンタの設定をしてください。

7. 各種ファイルフォーマット

7.1. 収集データファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_yyyymmddhhmmss.csv」のCSVフォーマットとなります。(yyyymmdd:年月日、hhmmss:時分秒)

1フィールド : メニュータイトル
 2フィールド : 入力項目 1
 3フィールド : マスタデータの第 2 フィールド
 4フィールド : マスタデータの第 3 フィールド
 5フィールド : 入力項目 2
 6フィールド : マスタデータの第 2 フィールド
 7フィールド : マスタデータの第 3 フィールド
 :
 :
 29フィールド : 入力項目 10
 30フィールド : マスタデータの第 2 フィールド
 31フィールド : マスタデータの第 3 フィールド
 32フィールド : 日付
 33フィールド : 時間

(*) 収集しない項目は空となりますので、csvフォーマットとしては必ず 33 フィールド までのファイルとなります。

例) IHP_20120731120000.csv

```
サンプルメニュー,1234567890,,,35AA000017,データ内蔵型タッチパネル ..., 1000-earth.jpg,1,...
サンプルメニュー,1234567890,,,35AA000015,データ内蔵型タッチパネル ..., 1000-earth.jpg,1,...
:
:
```

先頭行が最新の収集データとなります

「6.1. 収集データリスト」画面から FTP 送信、メール送信、SD へインストールを行った場合は、この CSV ファイルを送信します。
 FTP 送信、SD へインストールの場合は、収集した画像ファイルも送信します。

(*) 収集した画像ファイル名は「yyyymmddhhmmss_nn.jpg」の Jpeg フォーマットとなります。

nn は入力項目の番号になります。入力項目の 3 番目の場合は、「20120731120000_03.jpg」となります。



宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することで
 メールを送信することができます
 件名、本文については自由に編集が行えます

(*) メール送信した場合は、メール本文に収集した画像ファイルの件数が記載されて、csv ファイルが添付ファイルとなります。

7.2. マスタファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MASTER.CSV」のCSVフォーマットとなります。

- 1 フィールド : コード (*) 検索キーとなります
- 2 フィールド : 名称
- 3 フィールド : 画像ファイル名 (*) 画像はJpegフォーマットとなります

(*) FTPサーバのCSVファイルと同じディレクトリに画像を保存してください。

7.3. メニューファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MENU.TXT」となります。

<pre> <IHP> サンプルメニュー 3 1 1 1 1 1 0 0 0 </IHP> </pre>	<IHP> ~ </IHP> で囲まれた中にメニューのヘッダ部を定義します。 メニュータイトル : 任意 入力項目数 : 1 ~ 10 共通項目数 : 0 ~ 9 双外情報を付加 : (0:OFF / 1:ON) 日付を付加 : (0:OFF / 1:ON) 時間を付加 : (0:OFF / 1:ON) 確定時(メール送信) : (0:OFF / 1:ON) 確定時(印刷) : (0:OFF / 1:ON) プリフィックスデータ機能 : (0:OFF / 1:ON)
<pre> <I01> 棚番 0 0 10 0 0 0 0 </I01> <I02> : </I02> : : </pre>	<Inn> ~ </Inn> で囲まれた中にメニューの入力項目部を定義します。 (*) nn は 01 ~ 10 名称 : 任意 種別 : (0:文字 / 1:数字 / 2:加算) 初期値 : 任意 入力桁数-最小 : 0 ~ 9999 入力桁数-最大 : 0 ~ 9999 抽出桁数-開始 : 最小の値以下 抽出桁数-桁数 : (最小-開始) 以下 双参照 : (0:OFF / 1:ON) 双表示時間(秒) : -1 ~ 99 (*) -1 は表示しない、0 は無限

7.4. 印刷フォーマット

印刷フォーマットは、メニューファイルフォーマットの中に含まれます。

<EXT> ～ </EXT>で囲まれた中に印刷フォーマットを定義します。

印刷フォーマットは、ヘッダ部、ボディ部、フッター部と3部構成になります。

- ・ヘッダ部

印刷時の最初に印刷を行います。

件数がある場合でも1度のみの印刷となります。

- ・ボディ部

一覧画面からの印刷の場合には、データ件数分印刷を行います。

- ・フッター部

印刷時の最後に印刷を行います。

件数がある場合でも1度のみの印刷となります。

7.4.1. 使用できるコマンド

コマンド	説明
<IHP_HEAD>	ヘッダ部開始コマンド
</IHP_HEAD>	ヘッダ部終了コマンド
<IHP_BODY>	ボディ部開始コマンド
</IHP_BODY>	ボディ部終了コマンド
<IHP_FOOT>	フッター部開始コマンド
</IHP_FOOT>	フッター部終了コマンド
<0> ～ <255>	制御コード「0x00 ～ 0xFF」を表します。
<NULL>	制御コード「0x00」を表します。
<ETX>	制御コード「0x03」を表します。
<BEL>	制御コード「0x07」を表します。
<HT>	制御コード「0x09」を表します。
<ESC>	制御コード「0x1B」を表します。
<FS>	制御コード「0x1C」を表します。
<GS>	制御コード「0x1D」を表します。
[INPUT01] ～ [INPUT10]	入力データを表します。
[MCODE01] ～ [MCODE10]	マタ名称を表します。
[MIMGE01] ～ [MIMGE10]	マタ画像ファイル名を表します。
[DATE]	日付を表します。
[TIME]	時刻を表します。

<IHP_HEAD> ～ </IHP_HEAD>、<IHP_BODY> ～ </IHP_BODY>、<IHP_FOOT> ～ </IHP_FOOT>の間に記述出来るコマンドは上記コマンドと各プログラムの取扱説明書を参照して下さい。

(*) 記述されているコマンドが、全てのプリンタへ印刷が行えること動作保障しておりません。

7.5. メール送信フォーマット

収集データを csv 形式にして添付ファイルで送信します。

入力画面の確定時にメール送信した場合

収集したデータの前に入力項目の名称が記述されます
 収集した画像ファイルは添付されます
 マスタ情報はなければ記述されません
 (*) マスタ情報付加を OFF に設定していても
 マスタデータがあれば記述されます
 マスタ画像も添付されます

収集データ詳細画面からメール送信した場合

入力 01～10 までとそれに付随するマスタ情報が記述されます
 収集データが無くても入力項目 10 個とマスタ 2 個ずつが記述されます
 収集した画像ファイル、マスタ画像ファイルが添付されます

宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することでメールを送信することができます。
 件名、本文については自由に編集が行えます。

お問合せ窓口

・弊社ホームページ <http://www.e-welcom.com/> 問合せフォームよりお問合せください。
お問合せ内容は、本製品に関することに限らせて頂きます。

・本ソフトウェアのインストールについては、お近くの販売店又は弊社までご相談ください。

